平成24年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年８月７日

上場会社名	株式会社モブキャスト		上場取引所　東
コード番号	3664	ＵＲＬ　http://mobcast.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）藪　考樹	
問合せ先責任者	（役職名）取締役管理部長	（氏名）清田　卓生	ＴＥＬ　03-5715-1521
四半期報告書提出予定日	平成24年８月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有

四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

１．平成24年12月期第２四半期の業績（平成24年１月１日～平成24年６月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第２四半期	2,283	―	403	―	394	―	227	―
23年12月期第２四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第２四半期	39.27	37.00
23年12月期第２四半期	―	―

(注)当社は、平成23年12月期第２四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第２四半期及び平成24年12月期第２四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第２四半期	2,077	1,260	60.7
23年12月期	1,329	716	53.9

（参考）自己資本　　24年12月期第２四半期　　1,260百万円　　23年12月期　　716百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00			
24年12月期（予想）			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年12月期の業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	122.6	1,125	115.9	1,115	118.6	669	38.2	109.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期２Ｑ	6,322,500株	23年12月期	10,882株
②　期末自己株式数	24年12月期２Ｑ	－株	23年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期２Ｑ	5,789,373株	23年12月期２Ｑ	－株

(注)当社は、平成24年３月８日付で、株式１株につき500株の株式分割を行っております。期中平均株式数は、当事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成24年３月８日付で、株式１株につき500株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（３）追加情報 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（７）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるモバイルインターネット市場は、前年度に引き続き、スマートフォンの急速な普及により、日常的にインターネットに接触する機会が増加し、インターネットが生活インフラに近づきつつあります。また、当社を取り巻く事業環境としては、ソーシャルゲームの国内市場規模が引き続き拡大すると予想されております。

このような事業環境の下、当社は、自社運営ソーシャルメディア「ｍｏｂｃａｓｔ」の機能強化と、モバイルソーシャルゲームの開発及び運営に取り組むと共に、ターゲットを絞った効果的なプロモーション施策を実施し、会員数の拡大と収益基盤の強化に取り組んでまいりました。自社開発のオンラインプロ野球ゲーム「モバプロ」とオンライン競馬ゲーム「モバダビ」において、順調に利用者数と売上高が増加いたしました。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は2,283,434千円、営業利益は403,404千円、経常利益は394,784千円となり、四半期純利益は227,359千円となりました。

なお、平成24年６月26日付にて、東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①　財政状態

当社の当第２四半期会計期間末の総資産は2,077,400千円となり、前事業年度末に比べ748,347千円増加いたしました。

資産の部につきましては、主に売上債権の回収および東京証券取引所マザーズ市場上場に伴う公募増資等による「現金及び預金」の増加（対前事業年度末比568,127千円増加）、業容拡大に伴う「売掛金」の増加（対前事業年度末比47,272千円増加）、ロイヤリティのミニマムギャランティの支払いに伴う流動資産の「その他」の増加（対前事業年度末比116,794千円増加）、ゲームコンテンツソフトウエアの開発に伴う無形固定資産の増加（対前事業年度末比16,609千円増加）等の要因により、当第２四半期会計期間末の資産合計が2,077,400千円（対前事業年度末比748,347千円増加）となっております。

負債の部につきましては、借入金の返済に伴い「短期借入金」、「１年以内返済予定の長期借入金」および「長期借入金」が減少（対前事業年度末比109,458千円減少）したものの、業容の拡大に伴う「未払金」の増加（対前事業年度末比95,674千円増加）、四半期純利益の計上に伴う「未払法人税等」の増加（対前事業年度末比181,957千円増加）等の要因により、当第２四半期会計期間末の負債合計が816,763千円（対前事業年度末比203,833千円増加）となっております。

また、純資産の部につきましては、公募増資および新株予約権の行使により「資本金」および「資本準備金」がそれぞれ343,325千円、178,825千円（対前事業年度末比163,330千円増加、153,825千円増加）、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が738,486千円（対前事業年度末比227,359千円増加）となり、当第２四半期会計期間末の純資産合計が1,260,636千円（対前事業年度末比544,514千円増加）となっております。

②　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,224,963千円となり、前事業年度末より568,127千円増加となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において営業活動により獲得した資金は、412,996千円となりました。売上債権の増加47,272千円等により資金が減少したものの、税引前四半期純利益394,784千円、減価償却費17,130千円、前受金の増加39,442千円、未払金の増加96,962千円等により資金が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、45,113千円となりました。主な支出要因は、ゲームコンテンツソフトウエアの開発に伴う無形固定資産の取得による支出31,125千円、有形固定資産の取得による支出10,833千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において財務活動により獲得した資金は、200,245千円となりました。短期借入金の返済7,500千円、長期借入金の返済101,958千円により資金が減少したものの、公募増資および新株予約権の行使309,703千円により資金が増加したことによるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

当社をとりまく事業環境については、スマートフォンの急速な普及により、インターネットに日常的に触れる環境が整いつつあり、ソーシャルゲーム市場はさらに拡大していくものと予想しております。

当社は、自社が運営するエンターテインメントプラットフォーム「ｍｏｂｃａｓｔ」において、キラーコンテンツであるゲームコンテンツを中心に、スポーツを軸としたエンターテインメント性の高いモバイルコンテンツの提供を行い、会員数の拡大を図り、収益基盤を強化してまいりました。当社が開発及び運営を進めているキラーコンテンツであるソーシャルゲームは、ゲームというエンターテインメントを通して会員がリアルな人間関係に縛られることなく新たなコミュニティを形成してゲームを楽しむことができるものとなっており、会員は他者とのコミュニケーションを通してより深くゲームを楽しむことができます。また、従来型の携帯電話向け公式サイトゲームに比べ会員獲得コストを抑えることも可能となっています。

当社では、今後も拡大基調にある国内ソーシャルゲーム市場において、安定的な成長を実現するために、ゲーム関連売上を中心とする収益基盤の強化及び「ｍｏｂｃａｓｔ」プラットフォームのより一層の機能強化を行ってまいります。

既存のソーシャルゲームについては、効果的な広報・広告宣伝活動を展開し会員の利用者数を増加させるとともに、少数のゲームタイトルに依存した収益体制を脱却し、会員の多様な選択肢を用意しプラットフォームの価値を向上させるためにも、自社開発のゲームエンジンである「ＭＳＧＥ」を使用した新ソーシャルゲームの開発及び運営にも注力してまいります。また、当社では、安定的な成長を実現するために、会員一人当たりの課金額を高めるのではなく、課金利用者数を増やすための施策を実施していく予定であり、会員が長く遊べるようなゲームの提供と運営を心がけております。

「ｍｏｂｃａｓｔ」プラットフォームでは、平成24年３月から提供を開始した「実況Live！」（プロ野球実況中継」やニュース、コミュニティ等の会員による利用がゲームの利用者の増加と共に伸びておりますが、更にその利用頻度を増やすため、会員にとって使いやすいプラットフォームを目指し、「ｍｏｂｃａｓｔ」の一層の機能強化に取り組んでおります。また、この利用者の増加を広告メディア収入につなげられるように組織体制の強化を図っております。さらに、当社では、少数のゲームタイトルに依存した収益体制を脱却し、会員にとっての「ｍｏｂｃａｓｔ」の価値を高めるためにも、プラットフォーマーである強みを活かして、他社ゲームコンテンツの当社プラットフォームでの配信（オープン化）を予定しており、その準備を行っております。

今後の一層の事業拡大を目指す上では、海外におけるインターネット市場及びソーシャルゲーム市場の拡大を見据えた準備を推進することが重要な要素であると、当社では認識しております。海外展開にあたっては、費用対効果を慎重に見極めながら、海外展開へのノウハウを蓄積し、体制の整備等を図っていく計画であります。

第３四半期会計期間においては、７月10日に配信を開始した新規ソーシャルゲーム「モバサカ」が売上に大きく寄与してくるものと見込んでおります。また、それ以外の開発中のタイトルも第３四半期以降にリリースを予定しており、ユーザー数の拡大と売上増につながるものと考えております。

以上の結果、通気の見通しにつきましては、売上高4,500,000千円、営業利益1,125,000千円、経常利益1,115,000千円、当期純利益669,000千円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日（平成24年８月７日）公表の、「平成24年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。第１四半期会計期間において株式分割を行いましたが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,836	1,224,963
売掛金	572,737	620,009
その他	11,021	127,816
貸倒引当金	△2,851	△2,469
流動資産合計	1,237,744	1,970,321
固定資産		
有形固定資産	1,984	10,765
無形固定資産	42,269	58,879
投資その他の資産	47,053	37,432
固定資産合計	91,307	107,078
資産合計	1,329,052	2,077,400
負債の部		
流動負債		
短期借入金	10,000	2,500
1年内返済予定の長期借入金	67,760	49,756
未払金	381,784	477,459
未払法人税等	4,522	186,480
その他	35,893	71,552
流動負債合計	499,960	787,747
固定負債		
長期借入金	112,970	29,016
固定負債合計	112,970	29,016
負債合計	612,930	816,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,995	343,325
資本剰余金	25,000	178,825
利益剰余金	511,126	738,486
株主資本合計	716,121	1,260,636
純資産合計	716,121	1,260,636
負債純資産合計	1,329,052	2,077,400

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	2,283,434
売上原価	676,932
売上総利益	1,606,501
販売費及び一般管理費	※ 1,203,097
営業利益	403,404
営業外収益	
撤退事業関連収益	430
その他	66
営業外収益合計	496
営業外費用	
株式交付費	7,451
その他	1,665
営業外費用合計	9,117
経常利益	394,784
税引前四半期純利益	394,784
法人税、住民税及び事業税	183,071
法人税等調整額	△15,647
法人税等合計	167,424
四半期純利益	227,359

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	394,784
減価償却費	17,130
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△382
支払利息	1,542
売上債権の増減額（△は増加）	△47,272
前受金の増減額（△は減少）	39,442
未払金の増減額（△は減少）	96,962
未払又は未収消費税等の増減額	△8,817
その他	△77,612
小計	415,777
利息及び配当金の受取額	10
利息の支払額	△1,568
法人税等の支払額	△1,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,833
無形固定資産の取得による支出	△31,125
敷金及び保証金の差入による支出	△3,105
その他	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△7,500
長期借入金の返済による支出	△101,958
株式の発行による収入	309,703
財務活動によるキャッシュ・フロー	200,245
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	568,127
現金及び現金同等物の期首残高	656,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	※　1,224,963

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社は、モバイルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期累計期間において、新株予約権の行使により、資本金が34,530千円、資本準備金が25,025千円増加、一般募集（ブックビルディング方式による募集）により資本金及び資本準備金がそれぞれ128,800千円増加し、当第２四半期会計期間末において資本金が343,325千円、資本準備金が178,825千円となっております。

（７）重要な後発事象

有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当）

平成24年５月21日及び平成24年６月５日開催の当社取締役会決議に基づき、第三者割当による新株式の発行を次のとおり行っております。

(1)	発行株式の種類及び数	当社普通株式　80,000株
(2)	発行価額	１株につき736円
(3)	発行価額の総額	58,800千円
(4)	資本組入額	１株につき368円
(5)	資本組入額の総額	29,440千円
(6)	払込期日	平成24年７月24日
(7)	資金使途	モバイルプラットフォーム事業に係る開発者を中心とする人材関連費及び新規顧客獲得のための販売費